

「持続可能な観光政策のあり方」及び英国の「広範な経済効果」などを掲載

～国土交通政策研究所報「PRI Review」第 70 号の発行～

国土交通政策研究所は、国土交通分野で行った調査研究を紹介する所報「PRI Review」第 70 号（2018 年秋季）を発行しました。

本号では、外国人旅行者の急増に伴う問題と対応策の調査をふまえた今後の観光政策への示唆を紹介する「持続可能な観光政策のあり方に関する調査研究」、英国交通省の交通分析ガイダンスにおける「広範な経済効果（Wider Economic Impacts：WEI）」の一部を紹介する「英国の交通分析ガイダンスにおける広範な経済効果」などを掲載しています。

本文はこちらから→<http://www.mlit.go.jp/pri/kikanshi/prireview2018.html>

掲載されている調査研究の概要は以下の通りです。

調査研究のタイトル	概要
持続可能な観光政策のあり方に関する調査研究	国際機関や海外の観光先進地域の取組みに着目し、地域住民の目線を中心に外国人旅行者の急増に伴う問題及びその対応策等を調査することを通じて、今後望まれる持続可能な観光政策のあり方への示唆を取りまとめている。
英国の交通分析ガイダンスにおける広範な経済効果～3つの経済効果とその定量化～	英国交通省の交通分析ガイダンスにおける「広範な経済効果（Wider Economic Impacts：WEI）」の一部を紹介する。WEIでは、交通インフラ投資の便益分析に先立って、経済理論に基づく妥当性の検証により効果の追加性を正当化したうえで、交通ユーザー以外への便益（間接便益）の推計を行っている。
多様な地域公共交通サービスの導入状況に関する調査研究	全国の地方自治体を対象に、地域公共交通の検討体制、計画の策定状況、策定した計画にもとづく地域公共交通の導入状況、評価の実施状況や導入前後の事業実施データ等を把握し、その結果から、継続的な事業運営に繋がるような地域公共交通の検討手法や評価手法の一般化に向けた論点を整理している。
世界で進行する都市化の傾向と都市開発戦略（その3）～シンガポールの都市戦略～	シンガポールでは、わずか50年前の建国以来、都市づくりと交通政策の壮大な実験が行われてきた。1万人/km ² を超える人口密度を抱えながらも世界第9位の一人あたりGDP水準を実現したシンガポールのケースを分析することにより、新興国における都市開発戦略策定の一助とする。

※PRI Reviewについて

当研究所では、調査研究における検討内容や進捗状況について、関係者に幅広く周知することを目的として、「国土交通政策研究所報」を年に4回発行し、当研究所のホームページに掲載しています。

PRIは、国土交通政策研究所の英語名（Policy Research Institute for Land, Infrastructure, Transport and Tourism）から取っています。

お問い合わせ先

国土交通省 国土交通政策研究所
（中央合同庁舎2号館12階）

研究調整官 多田（内線53803）
研究調整官 山形（内線53835）
総務課情報管理係 松本（内線53816）

電話：03-5253-8816（直通）／ FAX：03-5253-1678

Mail：pri@mlit.go.jp URL：http://www.mlit.go.jp/pri/